

公益財団法人とよなか国際交流協会

2021 年度年次報告書 (概要版)

こくりゅう@home 2021

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 (28 期)

公正で持続可能な多文化共生社会をつくります



とよなか国際交流協会 2021 年度年次報告書 (概要版) こくりゅう@home 2021

も・く・じ

もくじ・とよなか国際交流協会の活動について	2
理事長・事務局長あいさつ	3
外国人をとりまく現状と ATOMS の取り組み	4-5
＜各事業からの報告＞	
・学習支援・サンスレイス/子ども母語	6
・多文化保育「にこにこ」/韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい	7
・若者支援事業/外国人のこども白書・子どもの夢応援ネットワーク	8
・小学校外国語体験活動事業/学習日本語「こんばす」	9
・多言語相談サービス事業	10-11
・国際教育/Filipino Young at Heart's Club	12
・防災事業/平和と共存のための～おまつり地球一周クラス	13
・留学生・ホストファミリー事業/しょうない・おやこでにほんご	14
・おかまち・おやこでにほんご/せんり・おやこでにほんご	15
・日本語交流活動「千里にほんご」/南部にほんご	16
・つながれとよなかオンライン!/日本語交流活動「もっともつつかえるにほんご」	17
・日本語交流活動「とよなかにほんご・木ひる」/とよなかにほんご・金あさ	18
・日本語交流活動「にちようがちゃがちゃだん」/多文化共生推進事業	19
・ボランティア養成・研修・哲学カフェ/市民活動協働事業	20
・持続可能な開発のための教育の 10 年 (ESD) とよなか/メディアリテラシー・市民セミナー/講師派遣	21
・情報サービス/施設管理受託事業	22
TOPICS	23-25
財務報告	26-27
協力者ご芳名	28
役員紹介/スタッフ紹介	29
事業一覧	30
広告協賛	30-32

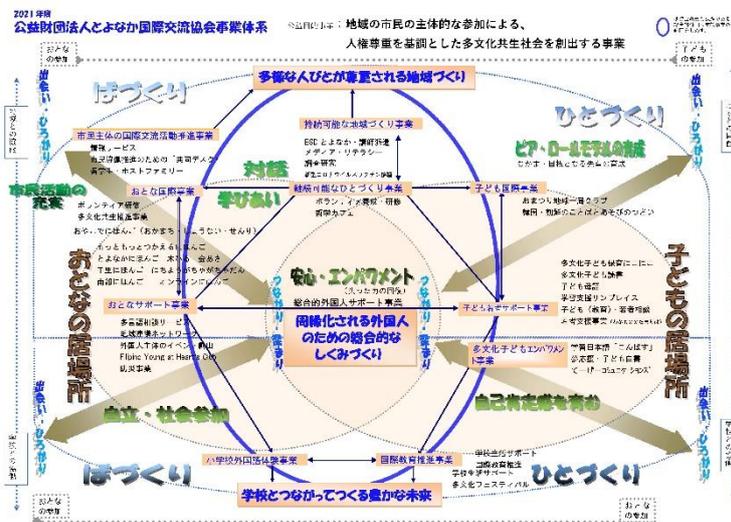
とよなか国際交流協会の活動について

～公正で持続可能な多文化共生社会を創ります～

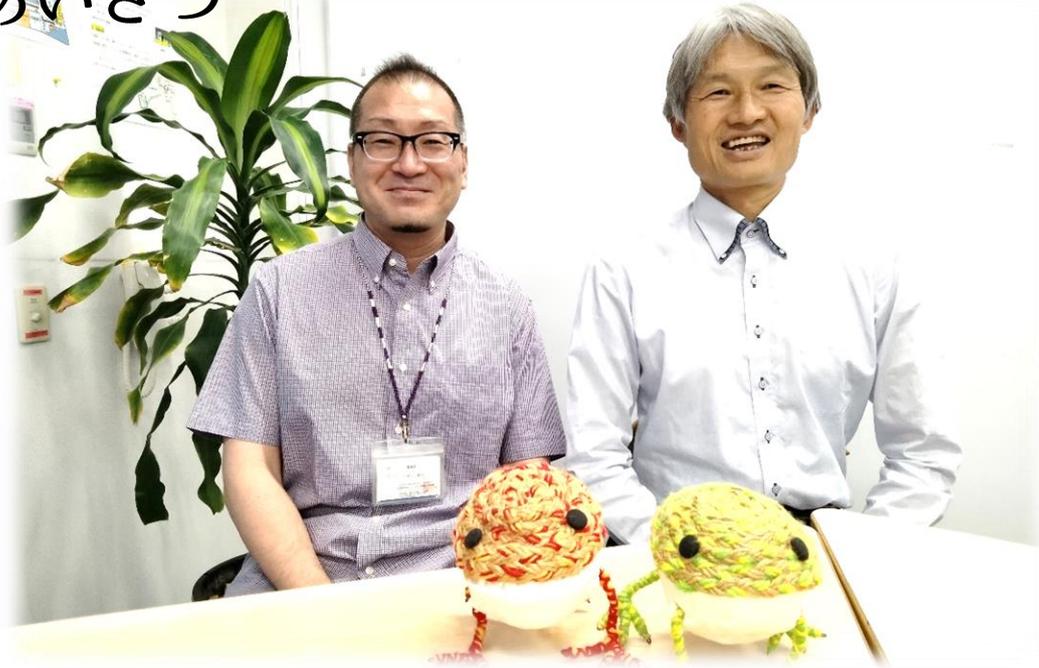
外国人が安心して集える居場所づくり&エンパワメントをすすめる事業や多文化共生社会を推進するひとづくりを中心に、さまざまな活動を地域や学校と連携しながら日常的に展開しています。

【活動理念】市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる

受賞歴	
2016. 10	大阪 NPO センター CSO アワード CSO 賞
2014. 01	大阪弁護士会 人権賞
2013. 05	憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
2013. 02	公益財団法人パナソニック教育財団 2012 年度 「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞



ごあいさつ



山野上隆史（事務局長）

松本康之（理事長）

松本康之（理事長）

2021年度は、新型コロナウイルス2年目でした。

2年目ということは、難しい状況が2年も続いた、ということです。若者の半数が「何もうたくなくなる、無気力」な気持ちに変化した、という日本赤十字社の報告があります。外国人市民の社会的孤立や経済的困難も増加しがちだったように思います。対応待ったなしの状況ですが、対応しようにも感染拡大防止については気の抜けない状況が続きました。他方、2年目は、当協会の各事業のスタッフ及びボランティアにとって、その対応・創意工夫が一層進化し、安定してきた、そんな1年でもありました。つながる、ふれあう、助け合う。これはコロナ禍とはいえ大切です。感染症対策をしながらの居場所作りをどう進めるか、対面とオンラインとをどう使いわけるか、どのように情報発信を多様化するか、等々。この1年間スタッフ及びボランティアは創意工夫を重ねてきました。ここにそのご報告を致します。では皆さま、よろしくお願い致します。

山野上隆史（事務局長）

2021年度も引き続き、新型コロナの影響を大きく受けた一年でした。3密回避が求められる中、活動内容や方法などで工夫が求められました。

そんな中、これまでになかった業務として、大きなものが二つ。新型コロナワクチンの予防接種について、多言語での予約システムを開発、運営し、さらにとよなか国際交流センターで多言語対応付きで集団接種を行いました。豊中市と共同で新型コロナにより外国人市民がどういった影響を受けたか調査研究をしました。この二つの取組をきっかけに協会事業のことを知り、支援につながった外国人市民も少なくありませんでした。

これまでの活動を継続させながら、新しい取組も進めるのは本当に大変なことであり、本当にバタバタとした一年でした。一方で、どんな状況の中でも、そこから一歩ずつなら進めていくことはできる。そんなことを強く感じました。

新型コロナの影響はまだ続きますし、センターの工事も2022年11月末まで続きます。落ち着かない状況が続きますが、一歩一歩進めていきたいと思っております。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

外国人をとりまく現状とATOMSの取り組み

とよなか国際交流協会
通称 **ATOMS** (アトムス)

基本理念

市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる。

事業の三本柱

- ① 多様な人々が尊重される地域づくり
- ② 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり
- ③ 学校とつながってつくる豊かな未来

豊中市の外国人人口と国籍数 [2022年3月末]

〔人口〕 **5,878人** →

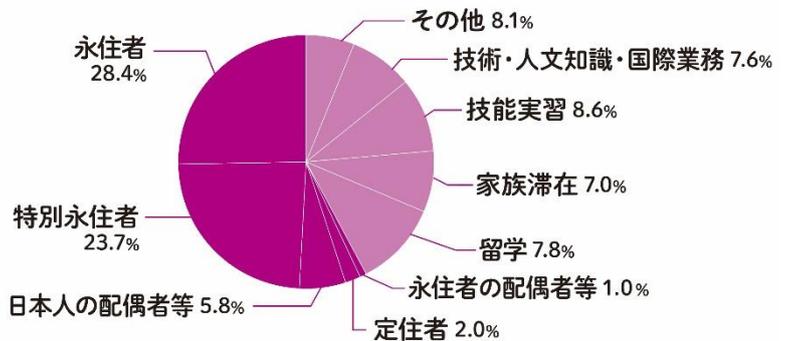
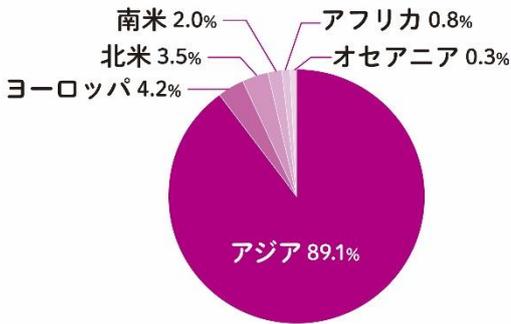
この5年で豊中市に暮らす外国人の数は約17%増加しています
(参照) 2017年3月末の外国人人口 5,043人

〔国籍数〕 **92ヶ国・地域**

*豊中市の総人口(408,736人)の約1.5%

■ 出身圏の割合 → **約90%がアジア出身**

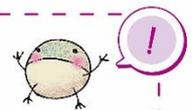
■ 在留資格別割合 → **長く暮らす人が増えています**



国・地域別の上位10	順位	国籍・地域	人数
1	韓国・朝鮮	1,825人	
2	中国	1,603人	
3	ベトナム	713人	
4	フィリピン	278人	
5	インドネシア	150人	
6	米国	148人	
7	台湾	145人	
8	ネパール	137人	
9	インド	101人	
10	タイ	72人	

解説 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2年連続で豊中市在住の外国人の数は減少しています。特に減少しているのが留学生、技能実習生です。それを受けて永住者、特別永住者、日本人の配偶者等の占める割合が増加しています。

この数年で、外国籍の子どもや両親のどちらかが外国人といった、外国にルーツを持つ学齢期の子どもや乳幼児も増えています。



取り組み

01

外国人のライフステージに沿った多様な支援

- 乳幼児
 - ・多文化子ども保育「にこにこ」… P.7
 - ・おやこでにほんご… P.14
- 子ども
 - ・子ども母語(4言語)… P.6
 - ・学習支援「サンブレイス」… P.6
 - ・韓国・朝鮮のことばとあそびのついで… P.7
- わかもの
 - ・若者支援事業… P.8
 - ・留学生・ホストファミリー事業… P.14
- おとな
 - ・多言語での相談サービス(11言語)… P.10
 - ・日本語交流活動… P.16
 - ・おやこでにほんご… P.14
- 高齢者
 - ・多言語での相談サービス… P.10
 - ・Filipino Young at Heart's Club… P.12
(フィリピン人の中高年支援事業)

受賞歴

- 2016年
大阪NPOセンター CSOアワード CSO賞
- 2014年
第13回大阪弁護士会 人権賞
- 2013年
憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
公益財団法人/パソニック教育財団2012年度
「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞

◆(公財)とよなか国際交流協会は指定管理者としてとよなか国際交流センターの管理・運営を行っています。

Facebookページ

とよなか国際交流協会 で検索!



取り組み

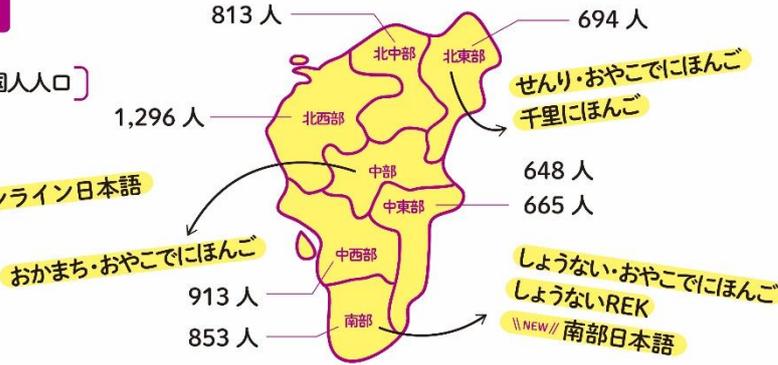
02

センターから飛び出して実施している事業

地域別外国人人口

★市全域

NEW// オンライン日本語



外国人人口は各地域で増えていますが、

- ① ATOMSの存在が充分知られていない
- ② 地域の人が外国人の状況や課題をよく知らない
- ③ 外国人が孤立している (ご近所とつながりが無い)

などの課題があります。

取り組み

03

さまざまな団体と一緒に取り組む活動

学校との協働

- 小学校外国語体験活動
- 多文化フェスティバル
- 講師派遣
- 多言語による進路ガイダンス
- ニュースレター『こくりゅうだより』表紙イラスト (池田高校、桜塚高校)
- 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

図書館との協働

- 「おやこでにほんご」 → 岡町、庄内、千里図書館
- 多文化子ども読書推進事業



地域のさまざまな団体との連携

- しょうないREK → 多文化共生に関する情報共有・連携
- とよなか国際交流センター登録団体との連携 → 国際交流フェスタ など
- 共同デスク=5団体*が共同運営している事業 (2021年度現在) → 中間支援組織間の情報共有・連携

* (社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、(特活)とよなかESDネットワーク、(公財)とよなか国際交流協会の5団体。

取り組み

04

地域で活動する市民ボランティア

ATOMSで活動するボランティア 約320人

*2020年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で休止となった活動が多かったこと、新規ボランティアの募集をかけられなかったことが要因でボランティア数が大幅に減少しました。

にほんごボランティア:120人
 ママさんボランティア:30人
 大学生・高校生ボランティア:23人
 外国人ボランティア:67人
 ホストファミリーボランティア:69家族 他
 賛助会員:個人会員151人、団体会員9団体

2021年度の大きな出来事

【コロナ禍でのATOMSの取組】

- ・災害時多言語情報支援センターで多言語での情報発信、相談対応を行いました。
- ・豊中市福祉部、豊中市社会福祉協議会と連携して相談会を実施しました。
- ・新型コロナウイルス予防接種に関する外国人支援業務を受託しました。
 - 1. 多言語での予約システムの開発及び運営
 - 2. ワクチン接種会場での多言語対応 *10言語で対応
- ・コロナ禍の影響について、豊中市と協働で調査研究を行いました。アンケート調査 (約2,700人に送付、630人から回答) インタビュー調査 (70人) を実施 → 予防接種、調査研究を通して、とよなか国際交流センターや当協会の事業を初めて知った外国人も多く、新たなつながりをもつことができました。

【コロナ禍の影響】

今年度も、感染予防のため、人が集まるイベントは形を変えたり、対象者を絞って実施しました。

【とよなか国際交流センターの工事】

2021年12月より空調設備の修繕工事により、センターの使えるスペースは半分になりました。実施形態や開催場所を工夫して、事業に取り組んでいます。(2022年11月まで)

【2022年度に向けて】

調査研究などから生まれた関係機関・団体との結び付きをネットワーク会議へつなげ、継続的に豊中市の多文化共生を進めていくためのプラットフォームを作ります。



報告書はこちらからご覧いただけます ▲

こども
サポート
事業

学習支援・サンフレイス

外国にルーツを持つ子どもたちのための居場所づくり。大学生ボランティアが運営しています。
毎週日曜日 13:00~15:00 (第一日曜日は休み)

ボランティアより

2021年度を振り返って

サンフレイスは、外国にルーツを持つ子どもたちがのびのびと自由に過ごすことができる場所です。学生ボランティアと一緒にゲームや卓球、勉強など何でもできます。

2021年度の活動は、新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、普段の活動に加えて子どもたちを中心としたイベントに取り組むことができました。不安や悩みがあっても安心して過ごせるような、家や学校でない第三の居場所づくりをしています。

2022年度に向けて

2022年度の活動では、より自由に子どもたちがやりたいことが実現できる居場所づくりを目指して、屋外活動や子どもたちが考案したイベントなど活動の範囲を広げていきたいです。

写真左) 感染対策をしながら活動しました。
写真右) 学年を超えて楽しめる卓球が人気です。

こども
サポート
事業

こども母語

外国にルーツをもつ子どものための母語教室。中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語を開講しています。講師はそれぞれのルーツをもつ若者です。(ポルトガル語、タイ語は現在休講中)
第2、第4日曜日 10:00~12:00

ボランティアより

2021年度を振り返って

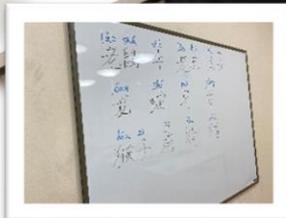
2021年度の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年度に引き続きこれまでのように充実した活動はできませんでした。しかしその中でも、子どもたちが興味のある活動をしながら母語に触れられるよう工夫をこらしました。また新たに参加する子どもやボランティアも増え、様々なことにも挑戦しました。母語を学ぶだけでなく、子どもたちが友人の輪を広げられる場所としての機能も果たすことができました。

2022年度に向けて

これまでに行ってきた活動を継承しつつ、子どもたちが楽しくそれぞれの母語を学べるように新しい遊びやゲームなどにも果敢に挑戦していきたいです。子どもの意見に耳を傾け、寄り添いながら、良い時間を過ごせるように努めていきたいです。

写真上) 外国にルーツを持つ大学生スタッフが楽しく学べるよう工夫しています。

写真下) 中国語の母語教室では漢字や発音を学んでいます。



こども
サポート
事業

多文化子ども保育「にこにこ」

外国にルーツをもつ乳幼児のための保育活動。保育ボランティアが運営しています。
毎週木曜日 13:30～15:30 / 金曜日 10:30～12:00

ボランティアより



2022年度に向けて

感染対策を十分にすること、参加する子どもは小さいがマスクなど大人がしている対策をできる範囲で導入したりして、安全な環境で活動をしていこうと思います。少しずつ親子で外出しようとしている保護者がいるので、にこにこの活動の場で対応していきたいと思えます。

2021年度を振り返って

今年度もコロナ感染者の増加に伴い活動が休みになったり再開したりで、子どもとの活動の時間をあまり持てなかったことが残念でしたが、久しぶりに会えた子どもたちの成長に感動しました。

コロナ禍でも、毎回部屋の換気やおもちゃの消毒をしながら、安全第一の活動ができたと思います。

ボランティアの手作りによるハロウィンやクリスマスの装飾で心温まる時間を過ごせたことは新しい試みで良かったと思います。



写真上) ボランティアと一緒にあそぶことで、子どもたちにとって安心して楽しめる居場所になってきました。

写真左下) ひとりあそびもボランティアが見守っているので安心です。 写真右下) プレイルームには遊具やおもちゃがあります。

こども
国際
事業

韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮にルーツをもつ子どもたちが集まり、民族講師（ソンセンニム）や友達（チング）と自分たちの歴史や言葉、遊びなどの文化を学んでいます。毎月第3土曜日午前中に開催。

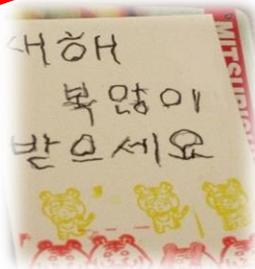
共催団体の豊中市在日外国人教育推進協議会の先生方より

2021年度を振り返って

今年度の活動は5回しかできず、1回目の開催は2学期10月となってしまいました。でも、こんな状況の中、コンスタントに参加してくれる子どもがいました。うれしいことに自分から行くと言って、久しぶりに来てくれた子どももいました。

会えなかった時間を乗り越えるかのように、文化や言葉を学習した後の遊びの時間に、互いに声をかけたり、相手を思って譲ったりする姿が見られ、うれしかったです。

子どもパワー、すごいです。



2022年度に向けて

月一回、2時間という制約のある活動時間ですが、友だちと一緒に過ごす時間は、子どもたちにとって大事な学びの場です。一人ひとりの気持ちをほぐし、互いに自信を持って話すことができるようにしていきたいです。



写真左上) ハングルで年賀状を書きました。

写真上右) ゲームをしながら、数字を何度も声に出して言いました。写真下) みんなで盤を囲んでユンノリを始めると、子どももおとなも一緒に盛ります。



多文化こども
エンパワメント
事業

若者支援事業

外国にルーツをもつ若者のための居場所づくりをさまざまな角度から行っています。15歳以上の外国にルーツをもつ若者が中心となり、国際交流センターでの活動だけでなく、地域で色々な活動に取り組んできました。



コーディネーターより

2021年度を振り返って

2020年度に実施した在日ネパール人の若者の実態調査報告会をオンラインで開催しました。

「たまりば」では、感染対策をしながら出来るだけ対面での活動を続けましたが、時間短縮やリモート開催の時期もありました。感染状況が落ち着いている時期にはコリアタウンへの遠足やお花見をしました。コロナ禍の続く中、気軽に集まって何気ない話ができる場や人のつながりの大切さを改めて感じています。

写真上) 距離を取りながらも楽しく活動しました。写真下) レインボーカラーのケーキ作りに挑戦!

2022年度に向けて

引き続き「場が開かれていること」を大切にしていきたいと思います。また、参加する若者たちそれぞれの言葉を紡ぎながら、一緒に、これからの「たまりば」をどんな場にしていくのかを考えたいです。

多文化こども
エンパワメント
事業

外国人のこども白書 子どもの夢応援ネットワーク

外国にルーツを持つ子どもたちを支援する関西の個人・団体によるネットワーク活動

2021年度を 振り返って

子どもの夢応援ネットワークでは、Zoomを使って定例の会議を行った他、大阪市教育委員会から依頼を受けた研修会の企画＆実施（対面）、日本国際交流センターとの意見交換会、文部科学省などとの意見交換会、在留資格家族滞在の子を奨学金の対象とすることを求める要望活動の準備などを行いました。一方で毎年実施しているシンポジウムや交流イベントは実施に向けて検討までは行いましたが、最終的にはコロナの感染状況を踏まえ、実施を見送りました。



写真左) 大阪市教委の依頼を受け、研修を企画、実施しました。
写真右) 当協会の職員も外国ルーツの若者支援事業について報告しました。

2022年度に向けて

2021年度はオンラインでの活動が中心となりましたが、2022年度は対面での活動に加え、シンポジウムや交流イベントなどを実施したいと思っています。また、政府等に対する要望活動なども現場の実情を踏まえ、行っていきたいと思っています。

学校とつなが
ってつくる豊かな
未来事業

小学校外国語体験活動事業

豊中市のすべての小学校（全41校）の3年生～6年生のクラスに、地域に暮らす外国人ボランティアを派遣して、ルーツのある国の文化や言葉を紹介します。豊中市教育委員会の委託事業。

コーディネーターより

2022年度に向けて

人権・多文化共生に繋がる様な工夫・研修を積極的に取り入れ進めていきたいです。打ち合わせの中で、外国人ボランティアと学校の先生方の希望とを、もう少しうまく取り入れ双方が不安なく授業を行える環境を整えていきたいです。そのためにもコーディネーター間の共有も細やかにしていきたいです。

コロナ禍で外国人ボランティア同士が交流する機会がなかなか持ていないため、機会を作ろうと思います。



写真上) 中国出身のボランティアへ子どもたちからお手紙をいただきました。
写真中左) 授業の様子(インドネシア)
写真中右) エクアドル出身ボランティアへ子どもたちからのプレゼント。
写真下) 外国人ボランティア研修の様子。先輩のデモレッスンを体験中。



2021年度を振り返って

コロナ禍の中でも昨年度より多くの授業を実施できたこと、英語以外の外国語の選択が多かったことが良かったです。色々な国に興味関心を持ってくださることを改めて感じ、様々な出会いを通して異文化理解に繋がられていると思います。子どもたちが積極的に質問することも多く見られ「その国のことを知りたい・相手を理解したい」という気持ちを感じました。

新しい外国人ボランティアも増え、その様な交流が外国人のエンパワメントになっています。

多文化こども
エンパワメント
事業

学習日本語「こんぱす」

日本語指導グループ「とよなかJSL」が運営主体となって、外国にルーツを持つ子どもの日本語教室を毎週火曜、金曜 17:00～19:00 に実施しています。

ボランティアより

2021年度を振り返って

外国にルーツを持つ小・中学生に日本語を教えています。日本語の能力が不十分なために、学習不振に悩む子どもたちがいます。レベルや問題点は様々ですが、それぞれの子どもに応じ、作文や教科で困ったときに対応できるように学校で役立つ日本語を目指しています。2021年度はコロナ禍のためオンラインで対応せざるをえない時もありましたが、なるべく対面で、書かせて、言わせて、読ませて、使える日本語を指導してきました。

2022年度に向けて

新学年になり、子どもたちの入れ替わりはあるかもしれませんが、一人一人に丁寧に対応し、スタッフもスキルアップできるよう、努力して行きたいと思っています。



写真上左) ボランティア説明会を開催しました。
写真上右) オンラインも活用して学習を継続しました。
写真下) 運営はとよなかJSLが担っています。

おとな サポート 事業

多言語相談サービス事業

外国人市民が地域で安心して生活できるよう、必要な情報の提供と相談サービス（電話、面接）を多言語で行う。相談体制：月/火/木/金/土曜日 11時～16時 / 日本語、英語、フィリピン語、タイ語、中国語、韓国・朝鮮語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語、(ポルトガル語・スペイン語は事前予約制)

2021年度相談実績について

2021年度の相談件数は3,376件。相談日を増設した前年度は1,848件であった。相談日増設以前の相談件数は、2019年度は952件、2018年度が1,001件、2017年度が952件で、1,000件前後で推移していたことをふまえると3倍増となっている。

前年度に続いてリモート対応を導入しており、相談者の希望や状況に応じて、リモートやSNSにより相談対応を行っている。加えて、複合課題を抱えるなかで、必要のある相談者にはアウトリーチによる相談対応を実施している。

相談全体の中で、新型コロナウイルスに関わる相談は1270件(37.6%)と、前年度は525件(28.4%)から大きく増え、ワクチンやPCR検査等を含む医療に関する相談は前年比4倍となっている。その過半数はネパール、フィリピン、中国、ベトナム国籍で占めている。

相談全体の内訳を在留資格別にみると、永住者・配偶者・定住者が計35.7%、家族滞在が16.3%、技能実習と留学が計7%。永住者・配偶者・定住者の半数はフィリピン国籍(52.5%)で、支援施策の手続きに関する相談が多く、活動に基づく在留資格の過半数はネパール国籍(40.9%)と中国国籍(21.3%)で、飲食業を営むネパールとその家族、留学生の、生活困窮と求職の相談が多かった。

▽相談者の国籍：〔()内は前年〕

フィリピン 28.4(25.9%)、中国 14.6(18.5%)、ネパール 17.0(16.6%)、韓国 9.7、ベトナム 6.3、タイ 2.0。日本 4.4 ネパールの相談の横ばいである。

日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は41(36)件。日本国籍の相談者は108件で帰化者や第2世代など、外国にルーツをもつ者が大半だった。外国籍だが日本語で相談を行ったのは712(378)件。39(44)か国から相談があった。

▽相談者の在留資格：

配偶者 11.6%、定住者 9.7%、永住者 14.5%、家族滞在 16.3%、その他



リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の「外国人のための1日離婚電話相談ホットライン」も5年目となりました。今年は大阪弁護士会との共催で、電話相談だけでなく、ZOOMと対面での相談も実施しました。



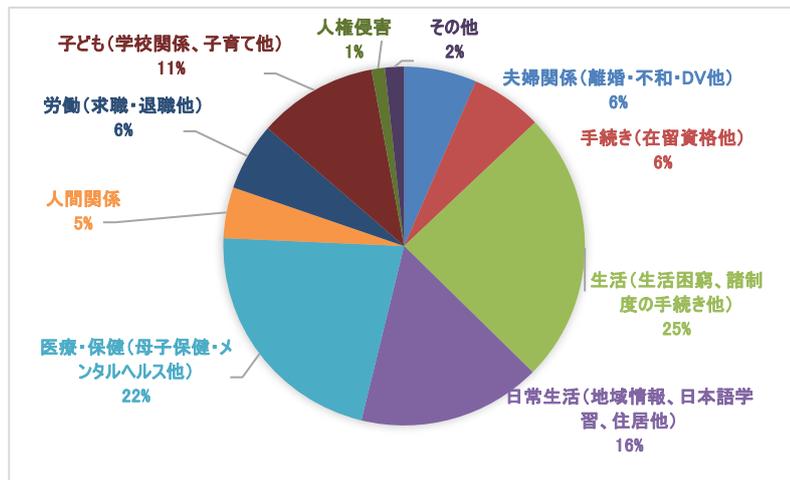
豊中市南部にある庄内公民館に出かけ、1日相談会を実施しました。



グループスーパービジョンを継続して年2回実施しています。毎回スタッフが検討した事例を発表し、スタッフ全員で検証、共有する貴重な時間となっています。スーパーバイザーは山中京子さん（コラボレーション実践研究所所長）。



定期的に多言語スタッフ向けの相談援助技術に関する研修も実施し、相談に関わるスタッフの研鑽の場としています。（講師は主任相談員の吉嶋）



2021 年度相談内容別



「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施している日本語検定サポートは、毎年日本語能力検定試験前に実施しています。実施回数のべ 27 回（写真は過去のものです）。

【アウトリーチ勉強会の実施】

センターに来づらい相談者の自宅を訪問して情報や支援を届けられるようにするために、2021 年度は先進地域の取組に学ぶ勉強会を開催しました。（写真は沖縄青少年自立援助センターちゅらゆいの金城隆一さんの研修の様子）他、学生サポートフェイス（佐賀）、京都モアネット、川崎市ふれあい館の方々にお話を伺い、それぞれの取組について学びました。



2022 年度に向けて

- ・生活テーマ・問題テーマを整理して、課題検証作業。それぞれの充実度、連携状況、社会的課題、支援課題、など。
- ・個々のスタッフの相談支援スキルアップ。
- ・相談終了後のフォローアップ。
- ・今後、安全と安心の組織や関係を作っていく。（トラウマインフォームドケアを取り入れたい）
- ・協会事業間のさらなる連携とアウトリーチの推進。
- ・豊中市と協働して、行政文書（納付書など）を外国人にもわかりやすい・伝わりやすいデザインや内容に変えていくための作業チームをつくりたい。

【相談サービス事業における対応について】

（1）ケース・ワークと他機関とのネットワーク（連携）

相談者の状況や相談内容が、諸制度を利用して問題の解決をはかる必要がある場合、ケース・ワークを行う。

豊中市在住の相談者について、相談者が他機関に関わっている場合、あるいは問題対応に他機関との連携が必要な場合は、関係機関で情報を共有したり協力するなど、より適切に対応できるようにする。

ケース・ワークが必要だが、相談者が遠方に住んでいたりと、当協会が直接の関係機関として関与しえない場合などは、相談者が住む地域の援助機関と連携をとる。その地域で多言語の援助がない場合は、当協会スタッフが相談者に対し、彼／彼女の状況を説明したり、相談者の希望や考えを援助機関に伝えるなど、仲介的役割を担う。

他機関では多文化対応が不十分な場合があるため、相談者の状況についてスタッフが機関に説明し、適切な対応を依頼する。また相談者は、どのような支援が受けられるか十分理解できないことが多いため、スタッフが相談者の母語で説明し、相談者の安心や納得を促す。その地域で多言語対応が可能な場合でも、相談者がスタッフへの相談を望む場合は、相談者の不安を支え、相談者が適切な支援を受けられるよう支援する。

（2）心理カウンセリング

相談者の悩みや問題について、相談者自身の内面に焦点を当てる必要がある場合は、心理カウンセリングを行う。相談者が自分の内面に目が向けられるよう、受容・共感・承認的応答を行い、自分の気持ちや考えに気づき、自分なりの決定や選択ができるよう支援する。

（3）情報提供等

日常生活における情報や、行政手続等に関する情報など、相談者が法・制度や地域情報等を知らなかったり、理解していない場合は、情報提供する。

例) 公営住宅の申込み、交通事故の対応、病院の情報、健康診断の結果について、確定申告、求職時の書類記入等

（4）安心して集えるコミュニティづくり

センターでの他事業を利用する来館者に対し、同国・母語の仲間と出迎え、安心できる環境を提供する。コミュニティ内で集う人が安心できるようなコミュニケーションに注意したり、ニーズに対応するなどを行った。必要であれば、随時個別相談として対応し、また逆に、相談に訪れた人に出会いの場へ促すなどを行う。

学校とつなが
ってつくる豊か
な未来事業

国際教育

「多文化フェスティバル」、帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業での「多言語による進路相談会」など、学校や教育委員会との連携により、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートしています。

2021 年度を振り返って

今年度は昨年に引き続き、規模は縮小しましたが「多文化フェスティバル」「多言語による進路相談会」ともに開催することが出来ました。多文化フェスティバルでは、教育委員会や学校の先生、ボランティアと協力し合い、たくさんの子どもの新たなつながりを生み出すことが出来ました。「多言語による進路相談会」では、外国にルーツを持つ生徒や保護者へ多言語で情報提供を行い、貴重な進路保障の場となりました。



写真左上) 多文化フェスティバルでの絵本の読み聞かせ
写真下左) ブースを回っていろいろな遊びを体験しました
写真上右) 多言語進路相談会の様子

2022 年度に向けて

多文化フェスティバル、多言語進路相談会ともに規模を縮小しての開催だったので、来年度はもう少し規模を広げて開催できればと思います。どちらも学校や教育委員会との連携が必要不可欠なので、しっかりと関係性づくりを行い、活動を進めていきます。

おとな
サポート
事業

Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)

2016 年度に（公財）大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施した外国人高齢者の調査をふまえて、相談サービスで利用者が最も多いフィリピン人を対象として、40 歳以上の中高年向けの居場所を 2017 年 5 月から「Filipino Young at Heart's Club」として毎月 1 回程度開催しています。

2021 年度を振り返って

2021 年度は、「ワクチン接種」「社会保険・年金」など、参加者が関心のあるテーマについてのセミナーを実施することができた。また、セミナーと併せてクリスマス会を設定することで、学びあり、アクティビティありの有意義な時間を過ごすことができた。

In FY2021, we were able to conduct seminars on topics of interest to participants, such as "Vaccinations" and "Social Insurance and Pensions". In addition, by setting up a Christmas party in conjunction with the seminars, participants were able to have a meaningful time with learning and activities.



2022 年度に向けて

引き続き、コロナ禍での感染対策を実施しながら、参加者の興味関心のあるテーマでイベントを実施していきたい。We would like to continue to hold events on topics of interest to participants while implementing infection control measures with the Corona Disaster.

おとな
サポート
事業

防災事業

災害の多い日本で外国人が安心して暮らせるように、大規模災害時の外国人支援につながる啓発活動を行い、災害時の支援体制を整備していく取り組みを各機関と連携しながら行っています。

2021年度を振り返って

2019年2月に災害時多言語情報支援センターを立ち上げてから、継続的に多言語で情報発信を行ってきました。一方で、2020年度に行ったコロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究では、情報や支援がなかなか届いていなかったことが明らかになりました。明らかになった課題にしっかりと対応していきたいと思えます。

外国人を対象とした防災訓練やセミナーについては行うことができず、課題として残りました。



写真) 過去の防災セミナーの様子。

2022年度に向けて

外国人向けの防災訓練やセミナーを実施したり、また地域の防災訓練に出て行って、多文化多言語対応が必要なことを発信するなど地域に出ていくなどしたいと思えます。地域で孤立する外国人が一人でも減り安心して暮らせるようにしたいです。

こども
国際
事業

平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

小・中学生のための国際理解プログラム。地域に住む外国人を講師に迎えて交流しながら、様々な国、地域について学びます。

ボランティアより

2021年度を振り返って

今年度も講師の方とボランティアとの間でたくさんの相談を重ねて、より充実した活動内容となりました。

新型コロナウイルスの影響で、調理実習やフィールドワークの活動ができなかった分、ダンスや民族遊び、工作などを通して、コミュニケーションをとる機会を積極的に取り入れることになりました。

子どもたちも含め私たちボランティアも、異文化に触れ合う楽しさやさまざまな学びを直接的に得ることができました。



2022年度に向けて

来年度は、新型コロナウイルスの影響でできなかったお菓子作りやフィールドワークなどを行うことができればいいなと思います。

人との交流を大切にし、より密接に楽しく文化について知れる機会を作りたいです。

写真左上) ネパール出身の講師と参加者 とても仲良くなりました。

写真右上) オリジナルの台湾の地図をつくりました

写真左下) ベトナム語の絵本に興味津々

写真右下) 中国の切り絵体験 「福」の字と干支モチーフの作品の完成!

留学生
ホストファミ
リー事業

留学生・ホストファミリー事業

留学生とホストファミリーのホームビジット型の交流活動。半年から1年の期間交流しています。運営は「ホストファミリー世話人会」が中心になって、様々なイベントや日本文化体験事業も開催しています。



世話人会より

2022年度に向けて
いつになったら留学生が来日し交流できるのか見通しも立たない状況ですが、私たち世話人もモチベーションを保ちながら、再開後の活動を見据えて何ができるか検討していきたいと思っております。(おしらせ作成やメールでの発信など)

写真) 世話人会の様子

2021年度を振り返って

2021年度も昨年同様、大阪大学、JASSOとの「出会いの会」や「交流会」などの活動は全くできませんでした。月1回の世話人会はモチベーションを保つ為にも継続しております。そして、昨年度はボランティア登録用紙のデジタル化やホストファミリー専用のメールアドレスも作ることができたので活用しています。

先日ボランティア登録用紙の更新の為、ホストファミリーの皆さんに郵送しましたら、8割近くの返送があり、世話人としてとても嬉しくおもいました。

にほんご
交流活動
事業

しょうない・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：庄内図書館)



写真左) 芋ほりの様子 写真中) 大きなお芋がとれました 写真右上) 親子そろってご参加いただきました 写真右下) 花と緑のネットワーク豊中の方からお話いただきました

ボランティアより

2021年度を振り返って

2022年度に向けて
働いているママさんが多いので、仕事をしながらも無理なく活動に参加できる環境を作っていけたらと思います。外国人ママさん、日本人ボランティアが気軽に集まることのできる場づくりをしていきたいです。

2021年度は引き続きコロナ禍の活動ということで普段通りの活動が難しい面もありましたが、新ボランティアを迎えて、Zoomでの活動や図書館での活動を実施しました。また、秋には活動参加のきっかけとなるよう「芋ほり交流会」(於：とよっぴー農園)を外国人ママと共に企画・実施することができました。少人数だからこそ、アットホームな雰囲気のなかで活動することができたと思います。

にほんご
交流活動
事業

おかまち・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：岡町図書館)

2021 年度を振り返って

感染状況によって、図書館・公園と活動場所を工夫してきました。行事としては、みかん狩り、おたのしみ会、お料理会等、感染対策を講じながら活動することができました。

3月の物々交換会では、使わなくなったおもちゃ等を持ち寄ってお買い物ごっこをしたり、外国人ママ提案のゲームでおともどもも楽しい思い出を作りました。活動の中で感じる子どもの成長を皆で喜び、見守ることのできるあたたかい場となっています。

ボランティアより



2022 年度に向けて

外国人ママもボランティアもコロナ禍の不安や子育ての悩みを共有し、誰もが継続して参加しやすい環境作りに努めていきます。そして、その活動を広く知ってもらえる方法を考えていきたいと思えます。

写真左上) みかん狩り 自分で採ったみかんは最高♪ 写真右上) ゲームをしながらプレゼント交換♪ 写真下左) お料理会 みんなで、おいしく楽しいお弁当作り♪ 写真下右) おたのしみ会 持ち寄ったクッキーを詰めて、自分だけのオリジナルクッキーバッグのできあがり♪

にほんご
交流活動
事業

せんり・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：千里図書館)

2021 年度を振り返って

感染症の流行状況をみながら、対面とオンラインの両方で活動してきました。対面の活動では、換気・消毒の徹底や活動時間の短縮などの対策を行いました。特に日本語が苦手なママさんは、対面の方が参加しやすいようでした。2020 年度から手探りながら始めたオンラインでの活動にも、少しずつ慣れてきたように思います。オンライン料理教室や、オンラインならではのゲームなどにもチャレンジし、参加者からも好評でした。

ボランティアより



2022 年度に向けて

感染防止対策を行った上で、なるべく対面での活動を増やしたいと考えています。ボランティアで様々なアイデアを出しながら、外国人親子にとって、気軽に楽しめる場所を提供し続けたいと思えます。

写真右上) クリスマスの制作
写真左上) 絵本の読み聞かせ
写真下右) 福笑いに挑戦！
写真下左) オンラインで恵方巻き作り

にほんご
交流活動
事業

千里にほんご

2017年度からスタートした日本語交流活動。千里地域連携センターとの共催で、豊中市東部・千里地域での外国人の居場所、交流の場づくりを行っています。毎週木曜日 10時～11時30分。(会場：千里公民館、千里図書館)

2021年度を振り返って

ボランティアより

千里にほんごは、千里近辺に居住する外国人との日本語学習を通じた交流を目的とし、千里コラボで活動を始めて5年目になります。残念ながら2021年度は対面活動ができた日数は数えるほどでしたが、集まることのできない期間はZoomに参加できるメンバーでリモート活動を行ってきました。Zoom学習者は大変熱心に続けて参加され、不慣れなまま始めたボランティアもやりがいを感じ、交代でホストができるまでZoom使用にも慣れてきました。



写真上) 対面での活動風景
写真下) オンラインでの活動風景

2022年度に向けて

どのような状況下でも臨機応変に対応出来る体制を保持し、学習者と繋がり続けることに加えて、新規学習者を増やすこと、以前の学習者を呼び戻すことを目標に、チームワーク良く頑張りたいと思います。

にほんご
交流活動
事業

南部にほんご

2020年度から開始。市南部の働く外国人向けに、庄内公民館で実施しています。毎週日曜日 13:00～15:00

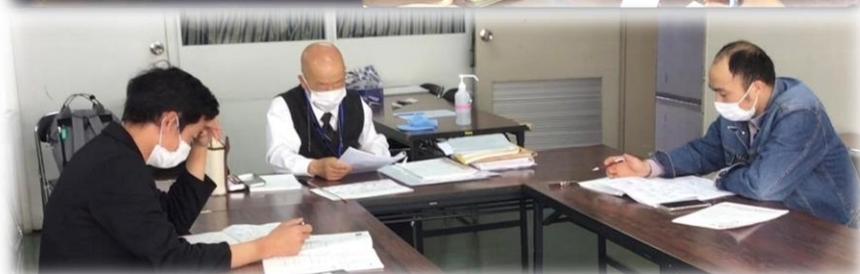
2021年度を振り返って

活動日を土曜日から日曜日に変えたことで、継続して学習に参加できるようになり、使っていた教材[書いてまねしてはなして]を終了して、年度末にはとても素晴らしいスピーチをすることができました。コロナ禍でオンライン学習にも取り組まなければならない不安定な環境の中、学習者とボランティアの双方の理解のもと学習を継続できたことで、関係性がより深まり、お互いに達成感を味わうことができたように感じています。



2022年度に向けて

新しい教材[話して書いて伝えあう私のこと・あなたのこと]を使って学習をステップアップさせる人、また一方で新たに学習を始める人も加わって、互いに交流しながら、グループの活動をますます活性化させていきたいと思います。



活動の様子

にほんご
交流活動
事業

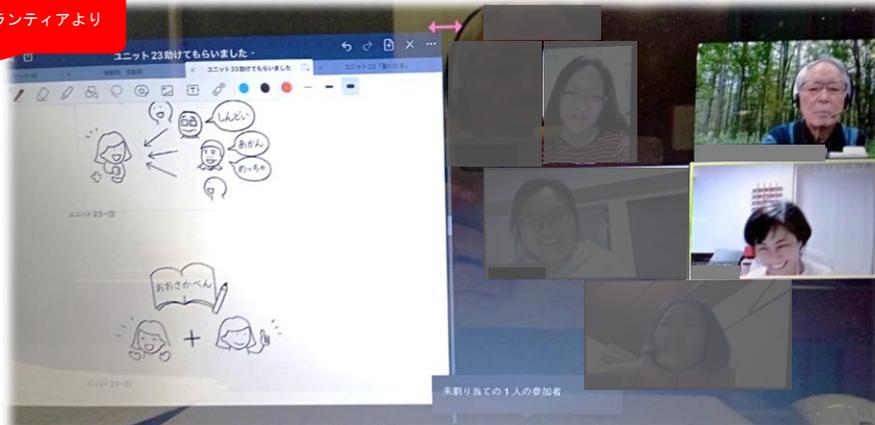
つながれとよなかオンライン!

2020年度から開始。市南部の働く外国人向けに、オンラインの教室を実施しています。
毎週木曜日 19:00~20:00

2021年度を振り返って

春と秋に半年のコースを実施しました。木曜日の夜、19時から20時の1時間という制限された時間ではありますが、大阪府が作成した教材[きいてまねしてはなして]を使い、活動しています。当初はオンラインでどこまで学べるか、参加者同士のつながりがどこまで作れるか…など、不安もありましたが、オンラインだからこそ参加できる人がいること、オンラインでも交流できることを実感しています。

ボランティアより



写真上) 画面共有しながら、聞いて、まねして、話します!
写真右) みんなで会話もします。

2022年度に向けて

活動の運営の仕方について、みんなで話し合いを通じて少しずつ進めています。試行錯誤も多いですが、一步一步土台を固め、つながれとよなかオンライン!のスタイルを作っていきたいと思います。



にほんご
交流活動
事業

もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00~12:00

2021年度を振り返って

当グループの主目的である「たくさん日本語を話す」ことを実施できるよう、あらゆる工夫と努力を継続することができました。対面←→リモート、学習者数の変動、ゼロレベルの学習者への対応、ボランティアのモチベーション維持など、問題は残っていますが、概ね本来の活動は途切れることなく実施できました。

ボランティアより



2022年度に向けて

ゼロレベルの学習者への対応について、一定のカリキュラムを設け、本来の活動と並行させていきます。また、新入ボランティアが本格的に活動し始め、フレッシュな活動力に期待したいです。

写真上、(下右) 活動の様子 写真下左) 最後に考えた文章を発表します。

にほんご
交流活動
事業

とよなかにほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別でのグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK! 毎週木曜日 13:30~15:20

ボランティアより

2021 年度を振り返って

4月からずっとオンラインでの活動でしたが、11月と12月のみ対面活動ができ、みなで会えた時の喜びはひとしおでした！ボランティア20名に学習者30名では対面時の3密が懸念され、年明けからはオンラインが続いています。メンバーのPCのスキルが上がり、学習者さんとの学習および交流がさらに充実してきました。ニューズレターweb版(3回発行)もつながりを深めてくれています。オンライン養成講座を経て新ボランティア6名が加わり活気が増しました。

2022 年度に向けて

年明け、感染者も減り春からはまた対面の活動ができると思っていましたが、しばらくはオンラインもやむを得ません。地域での新しい生活のため日本語が必要ならば、そのお手伝いができるように、ボランティア全員が努力し環境を整えます。



写真上) 対面での活動を再開した時の写真
写真下) ZOOMでの活動風景

にほんご
交流活動
事業

とよなかにほんご・金あさ

日本語交流活動。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK!
毎週金曜日 10:30~12:00



写真左) メインルームでハイ、チーズ! 写真右) C.Cスペースで楽しく活動中!

ボランティアより

2021 年度を振り返って

金あさは少人数(または個別)での学習や会話、またミニ交流会や季節の行事を通して、参加者相互の交流を実施してきた。2021年度は継続的な活動が厳しい状況を受け、オンラインでの「Zoom金あさ」を継続。対面(会場)とオンラインの二本柱で、参加を希望した学習者とボランティアは活動できた。

2022 年度に向けて

引き続き日本に住む外国人の日本語学習支援を通して互いの理解を深める活動をしていくが、コロナ禍、直接交流の機会が減っている。この状況下、つながり・交流・学習が途切れないように努め、国際交流の輪を広げたい。

にほんご
交流活動
事業

にちょうがちゃがちゃだん

平日働く人たちも参加できる日本語交流活動。参加者のさまざまなニーズに対応しています。
毎週日曜日 10:00~12:00



写真左上) 対面の活動が再開して賑やかです
写真右上) みんなで楽しく学習しています
写真左下) 普段の学習の様子
写真右下) たまには輪になっておしゃべり

2021 年度を振り返って

ボランティアより

2021 年度は、対面とオンラインを繰り返しながらの活動でした。対面では、休憩時間や終了時間になっても会話や学習を続けている人達も多く、楽しい雰囲気でも活動出来ました。オンラインでは、画面を通じての学習の難しさを感じる事もたくさんありましたが、その都度ボランティア間で情報を共有し、意見を出し合って、工夫を重ねながら活動を継続することが出来ました。

2022 年度に向けて

4 月から対面でのスタートとなり、学習者・ボランティア共に参加人数も増え、活気が戻ってきました。日本語学習を通じて、参加者同士の交流が広がり、学習者の居場所となるような活動を続けていきたいと思っています。

多文化
共生
推進事業

多文化共生推進事業

日本人/外国人のために、参加しやすく、異文化理解を促進する様々な取り組みをおこなっていきます。

2022 年度に向けて

【世界を食べよう】

レシピ本がメディアに多数取り上げられ、レシピ本を通じてたくさんの方に当協会の活動を知ってもらえることが出来ました。また、今年度はセンターと庄内公民館で、外国人講師から料理のお話を伺う「世界を食べよう～おいしい話編」を開催することが出来ました。

【多文化・多言語セミナー】

[安聖民パンソリライブ]今年度はとよなか人権文化まちづくり協会と共催したことで新たな気づきがあったので、来年度に活かしていきたいです。

[世界のミカタ]子どもとその保護者対象の異文化理解プログラム「世界の『ミカタ』」を実施。ワークショップ等の体験を通して「世界には多様な考え方がある」「世界とつながることの楽しさ」に気づき、ちがいを肯定的に受け止める心を育ててもらえるようなプログラムを講師と共に実施しました。

【国流シネマカフェ】

国流シネマカフェとして2回、昨年に引き続き市内公共施設とのコラボ企画としてとよなかシネコンを1回開催しました。また、外国人親子が多く住む地域でも国流シネマカフェを初開催しました。(会場：千里公民館)

2021 年度を振り返って

【世界を食べよう】

新型コロナウイルス感染拡大状況をふまえ、引き続き世界のお料理の話を中心にイベントを開催したいと思っています。

【多文化・多言語セミナー】

今年度同様 様々な団体と連携をしながら幅広い世代に参加してもらいつながることのできる企画を考えていきたいです。

【国流シネマカフェ】

次年度以降は、ハリウッド映画に限らず、アジア映画など地域に住む外国人が見たい映画を上映したいです。また、上映のみに限らず、映画を観た感想や、取り上げたテーマをさらに深めることができるよう、他事業(哲学カフェ、研修など)と連携していきたいです。



写真左上) 世界を食べよう～台湾のお話
写真右上) 国流シネマ、「ボスベイビー」と「ボヘミアンラブソニー」を上映
写真中) パンソリライブの様子
写真下) 世界のミカタでの一コマ グループワークでは子どもたちと保護者が積極的に意見を交わしていました。

持続可能な人づくり事業

ボランティア養成・研修／哲学カフェ

- ・時代に即した学びの場、および対話の場を創造し、多文化共生社会をつくる人づくりを行っています。
- ・哲学カフェ（カフェフィロとの共催）
- ・ボランティア養成講座の開催（年1回）等

2021年度を振り返って

【ボランティア研修】

昨年度実施できなかった「多文化子育て支援ボランティア養成講座」をオンラインで開催し、「おやこでにほんご」「多文化子ども保育にここ」に新しいボランティアの方を迎えることができました。また、コロナ禍で活動の機会が少なかった新規日本語ボランティアを対象に、フォローアップ研修も実施しました。

【まるわかりセミナー】

昨年度は「多文化共生編」で実施した本セミナー。今年度は「フィンランド編」として、北欧フィンランドの文化や習慣、制度などをご紹介します。

【哲学カフェ】

昨年度に引き続きオンラインで開催し、「顔って見せないといけないの？」をテーマに話し合いました。4名が参加しました。安心して話すための哲学カフェのルールと進行役の調整で、日常生活の中ではなかなか難しい「対話」を体験できる機会となりました。



写真左) まるわかりセミナーの様子

写真右) 日本語ボランティアのためのフォローアップ研修の様子

2022年度に向けて

【ボランティア研修】

空調工事などで活動場所が限られる中ですが、多様な市民に活動に関わっていただけるよう工夫を続けていきたいです。

【まるわかりセミナー】

引き続き、様々な視点から世界や地域の共生につながるテーマでセミナーを実施していきたいです。

【哲学カフェ】

他の事業との連携などを検討していきたいです。

市民活動協働事業

市民活動協働事業

様々な市民団体、中間支援組織と共に、多文化共生のまちづくりをすすめるための協働事業を実施するとともに、市民主体の国際交流活動を促進するための相談、および支援をおこなっています。

2021年度を振り返って

【しょうないREK】

しょうないREK実行委員会に参加しました。実行委員会では市南部地域での外国人の状況について情報共有したり、市南部地域での外国人支援（生活何でも相談会や南部にほんご、おやこでにほんご等）について積極的に伝えてきました。また、南部地域全般の動きについても把握する機会としました。毎年、国際交流フェスタで古本市を開催していますが、今年もフェスタを開催することができず、センターで古本市は実施できませんでした。

【豊中の市民活動共同デスク】

年に3～4回、中間支援団体同士の情報交換の場として開催しました。その時々の方々のニーズや関心についてざっくばらんに意見交換できる場となっています。



写真) 共同デスクの様子

2022年度に向けて

【しょうないREK】

来年度には南部コラボ（仮称）が完成します。市南部での外国人の増加、支援ニーズの増大に合わせて、引き続き南部の会合に積極的に参加し、アウトリーチを続けていきたいと思えます。南部での「こくりゅう」の存在感を大きくしていきたいです。

【豊中の市民活動共同デスク】

引き続き、「こんな時どうしてる？」と気軽に情報や意見の交換ができるフラットな場として継続参加できればと考えています。スタッフだけではなく、団体に集うボランティアも何かの形で参加できる企画も考えていきたいです。

持続可能な 地域づくり 事業

- ・持続可能な開発のための教育の10年(ESDとよなか)
- ・メディアリテラシー市民ゼミナール・講師派遣
- ・調査研究/コロナワクチン集団接種会場運営

【ESDとよなか】国連持続可能な開発のための教育の10年(2005年～2014年)の理念に基づき、次世代に渡す地域づくりのための多様なセクターが連携するための取り組み。【メディアリテラシー】メディア分析を通じて「外国人・日本人」の捉えられ方、考え方を見直す参加型の講座。【講師派遣】地域の学校・諸団体への講師派遣。【調査研究/ワクチン集団接種会場運営】コロナ禍における外国人支援の一貫として、市が実施する事業に協力しました。

2021年度を振り返って

【ESD連絡会議】

ESDとよなか連絡会議では、連絡会議の構成メンバーの取組について発信する動画作成を行いました。動画作成の過程を通じて、お互いの取組について知ったり、また連絡会議の在り方やポイントについて再確認する機会にもなりました。

【メディアリテラシー入門講座】

「子どもとメディア」をテーマに開催し、6名が参加しました。講師のうちのお一人はオンライン、その他は対面というハイブリッド形式でした。子ども・若者が主な情報源としているインターネット上で広がりやすい嘘の情報「フェイクニュース」について学び、情報との付き合い方を考えました。また、ウクライナ侵攻についてのニュースを分析しました。

【講師派遣】

2021年度は豊中市内外の学校をはじめ、人権研修など、のべ43件、71人が各機関に出向いたりオンラインで実施したりしました。

【調査研究】

豊中市と共同で、調査について検討する豊中市多文化共生施策推進連絡会議専門部会を立ち上げ「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究」を実施しました。アンケート調査(約2,700人が対象で630人から回答)、インタビュー調査(70人)からは予想以上に影響が大きかったことが分かりました。また、調査を通じて、当協会とつながり、支援や交流活動につながった人も多く、定期的の実態把握をする必要性を感じました。(詳しくはp.25)

【多言語でのコロナワクチン集団接種】

コロナワクチン集団接種会場の一つにとよなか国際交流センターが指定されたことにより、多言語対応が可能なワクチン接種会場の運営を行いました。(詳しくはP.24)



講師派遣：中学生と楽しくコミュニケーションをとりながらエクアドルの紹介



ワクチン接種会場運営のスタッフ集合写真。ピンクのベストが通訳スタッフです。(撮影のためマスクを外しています)

※ESDとよなか連絡会議：赤ちゃんからのESD、市民環境会議アジェンダ21、とよなか人権文化まちづくり協会、とよなか国際交流協会、男女共同参画推進財団、豊中市社会福祉協議会、教育委員会(社会教育課)、環境政策課、千里文化センター、人権政策課が構成メンバーのゆるやかなネットワーク



コモとスースのポストカードセット
(5枚入り、200円)
事務所にてまだまだ好評販売中!

2022年度に向けて

【ESD連絡会議】

動画をうまく活用しながら、SDGsやそれを達成するための人材育成の実践であるESDについて引き続き、周知広報に取り組みます。

【メディアリテラシー入門講座】

引き続き子どもとメディアについて考えたいです。

【講師派遣】

近隣地域とのつながりを大切にしつつ、広範な地域に向けても、協会事業・多文化共生等について発信していきます。

【調査研究】

一緒に調査に取り組んだ専門部会のメンバーとはネットワーク会議を行い、引き続き、調査研究の結果を踏まえ、必要な取組やネットワークのあり方について検討していきたいと思えます。

【多言語でのコロナワクチン集団接種】

2022年度も継続して接種会場運営を継続します。

施設管理 受託事業

情報サービス／施設管理受託事業

地域への情報発信、ならびにとよなか国際交流センターの貸室業務など公共空間の管理、組織運営を行っています。

2021 年度を振り返って

【SNS 発信】

協会ホームページ、メールニュースや Facebook ページによる多言語情報発信を行いました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する情報を中心に、災害情報やイベント情報の他、日本語教室、多言語相談サービスについての案内などを 9 言語で発信しています。Facebook ページのフォロワー数も、各言語少しずつ増えてきています。

【民族衣装・図書貸出】

センターの空調設備改修工事に伴い 9 月から民族衣装・教材の一般貸出を一時的に中止していますが、協会事業での利用（国際理解・人権教育等）は活発でした。図書についてはセンター工事期間で一部閉鎖をしていることもあり、利用者が減ったのが残念でした。

【こくりゅうだより】

毎月『こくりゅうだより』を 1400 部発行。市内公共施設や小中学校に配架、賛助会員に送付し、協会のイベント情報案内や報告を行いました。

【多言語広報「とよなかしからの おしらせ」】

今年度から豊中市が発行する 8 言語によるおしらせ「とよなかしからの おしらせ」の編集・印刷・発送作業を実施しています。「広報とよなか」から、外国人市民にとって特に重要と思われる情報をピックアップし、多言語に翻訳しています。年度後半からは、地域の市民団体と連携しながら、よりよい情報発信につとめています。

【ギャラリー展示】

イベントに合わせた展示を行った。また豊中駅前の市民活動情報サロンのギャラリーでも、協会の活動案内を掲示しました。

【施設管理受託事業】

2021 年度は 11 月から空調設備取替工事でセンターが半分しか使えなくなりました。活動場所が大きく制限される状態になっていますが、時間を工夫したり、オンラインを活用するなどして活動を継続しています。貸室業務も停止していますが、4 月から導入される新システムの準備を進めました。センターの登録団体と実行委員会形式で実施している国際交流フェスタは今年も開催できませんでしたが、登録団体の活動成果を広く伝える「登録グループ団体紹介ブックレット」を発行しました。



市民活動情報サロンのショーウィンドーでの活動紹介



年度末には職員で一年間のふりかえりをしています。



視察受け入れの様子。スタッフが館内案内を行っています。

2022 年度に向けて

【SNS 発信】今回実施したコロナ禍の影響についての調査研究の結果、LINE を使う外国人市民が多いことが明らかになりました。中でもユーザー数の多い英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語にやさしい日本語を加えた 5 言語で LINE による情報発信を始めます。

【民族衣装・図書貸出】民族衣装や民族教材の一般貸出再開後、広く利用していただけるようにカタログ（デジタル・アナログ）を再編集していきます。所蔵している図書・絵本を積極的に活用していただけるように、わかりやすい広報をしていきたいです。

【こくりゅうだより】イベントの告知、報告が大半なので、外国人が知りたいと思う情報に応える形での情報発信に力を入れたいです。

【多言語広報】「とよなかしからの おしらせ」が、より多くの情報を必要とする市民に届くよう、発信方法などを工夫していきたいです。

【ギャラリー展示】外国人来館者を含む、ふらっとセンターを訪れた来館者に対しても事業や取り組みに興味を持ってもらえるような展示にしたいです。

【施設管理受託事業】5 月から 11 月まで空調設備取替工事（後半）を行います。前半よりも活動スペースが限られますが、残りのスペースをうまく活用したいと思います。登録団体について、より使いやすく、また多文化共生の推進につながるように検討したいと思います。

TOPICS ①

豊中市社会福祉協議会との連携

近年、地域で暮らす外国人が増えただけでなく、定住化も進んでいることから、福祉分野との連携の必要性が言われています。福祉分野においても、地域共生社会の実現に向けて、地域住民や地域の多様な主体がつながり、地域をともに創っていく取り組みを進めていますが、もちろん、その中に外国人のことも入っています。

コロナ禍で収入が減ったり、仕事を失ったりした外国人も多く、例えば特別定額給付金の申請のために、多くの外国人が豊中市社会福祉協議会（以下、「社協」）の窓口を訪ねました。多文化共生と福祉分野の連携は待ったなしの課題となっています。

社協との連携は、社協が開催する会議やイベントへの国流の参加、国流が開催する会議への社協の参加のほか、連携してケース対応にあたるなど、顔の見える関係を生かして、具体的に取組を進めてきています。今後も社協との連携を深めながら、地域の多文化共生を進めます。



TOPICS ②

前事務局長を偲ぶ会「さんむんさん、ありがとう会」

2021年5月30日、前常務理事兼事務局長の金相文（きむ さんむん）さんが亡くなりました。享年71歳でした。2013年から3年間、事務局長をされ、2016年からは引き続き、理事として当会の運営に関わっていただいただけでなく、2019年3月までは週3～4日センターに来られていました。

そんなさんむんさんのことを思い出し、振り返る時間をもつために、1月29日（土）に「さんむんさん、ありがとう会～これからもぼちぼちで～」を行いました。とよなか国際交流協会に来る前のこと、来てからのこと、離れてからのことを、それぞれときに深くかかわっていた人のトークを通じて振り返り、想いをはせました。

山本弥生人権政策監のあいさつから始まり、スライドショーを投影した後、小学校の先生時代の話を手崎一人さん（大阪市教育委員会指導部人権・国際理解教育グループ プレクラスコーディネーター）、学校から当会に移ってきた頃の話を手井縁さん（大阪大学）、当会での話を松本康之さん（当会理事長、弁護士）、当会から地元である生野区にフィールドを移してからの話を宋悟さん（NPO 法人クロススペース）にいただきました。みなさんが取り上げるさんむんさんの時期はちがうのですが、それぞれの話からは一貫して懐の深さ、視野の広さ、ネットワークの軽さ、そして徹底して子どもの立場に立ち、どんな相手とも持論を押し付けることはせず、徹底して聞く、じっくりと聞く姿を思い出しました。限られた時間だったかもしれないけど、一緒に仕事をして同じ時間を過ごしたことを絶対に忘れない。そう思いました。

コロナ過もあり、当日、会場の定員は20名と限定せざるを得なかったのですが、その分、Zoomで多くの人にご参加いただきました。さんむんさん、ありがとうございました。これからもぼちぼちやったださいね！！



TOPICS③

外国人向け新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の運営

協会は2016年に「豊中市災害時多言語支援センター」設置の協定を豊中市と締結しました。市に災害対策本部が設置された場合に支援センターが設置されることになっています。新型コロナウイルスについては、2020年2月支援センターが設置され、以降相談日の増設、ZOOM相談の導入、Facebookページを10言語で開設して情報提供等を行ってきました。この度、豊中市のコロナワクチン集団接種会場の一つにとよなか国際交流センターが指定されたことにより、多言語対応が可能なワクチン接種会場の運営を行うため、豊中市と業務委託契約を締結しました。人権政策課、保健所と連携し、下記の業務を実施しました。(接種率は外国人75%、日本人25%)

【期間】2021年7月4日～11月7日の毎週日曜日 9:30～16:00 (追加接種 2022年3月13日、22日)

【当会場での外国人の接種者人数】 のべ約800人

【目的】

- ・日本語の理解が難しい外国人市民に不安なく安心してワクチンを接種してもらうための環境整備
- ・接種案内や予約、接種会場での対応をすべて10言語で行うことで、情報が届きにくい外国人市民のスムーズなワクチン接種を推進。

【協会で実施した業務】

- ・多言語WEB予約受付システムの開発・受付業務・問合対応
- ・多言語案内文の作成
- ・接種会場の通訳者コーディネート／当日の会場運営 ・外国人向け情報提供・相談対応



ワクチン接種券の発送時に合わせて、接種対象の外国人市民向けに多言語での案内文を送付(10言語)(約5000通)



【多言語予約ウェブサイト】

- ・WEB予約の案内は郵送以外に、市ウェブサイト、協会Facebookページ・ウェブサイトやメールニュースで周知しました。
- ・技術的な問題でWEB予約できない人については、別途臨機応変に対応しました。



【接種当日の通訳対応・会場運営】

通訳スタッフが予診票の記入方法をフォローしているところ

【振り返り】

予約の段階から多言語でのサポートが可能となり、また、医師の問診等に通訳スタッフを配置することでワクチンに対して不安を感じていることを相談できるため、安心してワクチンを接種することが可能となり、接種者からは好評を得ました。予診票の記入スペースや接種後の待機スペースでは、国際交流センターの活動内容を紹介する展示や映像で紹介し、接種者へ相談サービス等のパンフレットを配布して情報提供を行うことができました。また、通訳スタッフ(その多くは協会の外国人スタッフ)が接種者と直接コミュニケーションをとることで、顔と顔の見える関係をつくることができました。その結果、これまで国際交流センターを利用していなかった外国人市民が協会のボランティア活動に参加したり、相談窓口を初めて利用するなどの事例がみられました。

TOPICS ④

コロナ禍における外国人市民の生活等への影響調査・報告会

豊中では地域で暮らす外国人がコロナ禍で困らないように、2019年2月に災害時多言語支援センターを設置し、それ以来、多くの多言語情報を発信してきました。また、同年3月からは多言語相談サービスの開設日を増やすなどして困りごとに対応してきました。

一方で、相談窓口を知らない人、つながっていない人たちはどうしているのか、情報や支援は届いているかといったことは常に気がかりでした。どうなっているか把握しなければ…ということで、2021年4月から豊中市と共同でその影響について調査「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究」を行いました。

調査はアンケート（約2,700人に調査票を配布し、約630人から回収）とインタビュー（70人）の二本立てで行いました。

豊中市では若い世代かつ在住年数が少ない外国人が増えていること、地域社会とのつながりがあまりなく、日常生活で必要な情報や支援へのアクセスが確保されていないことが見えてきました。

また、勤務日数や仕事が減るなど、仕事で影響を受けた人が約6割、収入が減った人が約4割、日常生活の支払いで何らかの支障をきたした人が約2割など、大きな影響が明らかになりました。また、外国人に対する偏見・差別の言葉を聞いたり、文章を見たりした人が約3割、差別を受けるかもしれないので、あまり外に出ないようにしている人が1割弱もいました。

もともと生活基盤がぜい弱だったところに、コロナ禍の影響がより大きなダメージとなって現われたこと、それが時に攻撃として現れていたことが分かりました。コロナ禍で「困っている」ことに加え、社会に対する安心・信頼が揺らいでいることも見えてきました。

2月20日（日）にはオンラインで調査研究の報告会を行いました。約140人の参加がありました。全国だけでなく、海外からも参加者があり、関心の高さがうかがえました。調査報告書については、豊中市及び当協会HPからダウンロードしていただけます。また、報告や説明を希望される場合は当協会までお問い合わせください。 報告書（本編）のダウンロードはこちらから→



コロナ禍を乗り越えるには
コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告から

Zoomウェビナー
報告会

2022 2.20日
14:00~15:30 ※13:30から入室できます。

参加費 **無料** 当日先着 **500人**

コロナ禍により世界中で人々の暮らしは大きく変わりました。また、人の移動やつながり方に大きな影響を与えました。日本社会には約300万の外国人が暮らし、ここ豊中にも約6,000人の外国人が暮らしていますが、コロナ禍により、外国人はどういった影響を受けたのか、暮らしはどう変わったのか、どういった受け入れ体制や支援が必要だったのか、アンケート調査とインタビュー調査の結果をもとに考えます。

登壇者

ENOI YUKARI
榎井 縁
大阪大学大学院
人間科学研究科附属
未来共創センター
特任教授

TAKAYA SACHI
高谷 幸
東京大学大学院
人文社会系研究科
准教授

NAGAYOSHI KIKUKO
永吉 希久子
東京大学
社会科学研究所
准教授

参加方法
下記URLまたは二次元コードよりアクセスいただき、IDを入力ください。事前申し込み、参加費は不要です。
<https://zoom.us/j/94899584203>
ID: 94899584203

事前質問
報告書の内容に関する質問は事前にメールで下記豊中市人権政策課（左の二次元コードがある）または下記アドレス（メール）までお送りください。
※ 受付期間：2月19日（日）まで
jkokusai@city.toyonaka.osaka.jp

主催 ■ 豊中市・（公財）とよなか国際交流協会
問い合わせ先 ■ 豊中市人権政策課 TEL: 06-6858-2654
とよなか国際交流センター TEL: 06-6843-4343（※当日のみ）



財務報告

正味財産増減計算書内訳表

2021年4月1日から2022年3月31日

勘定科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
②特定資産運用益				
特定資産受取利息	64,040	0	0	64,040
特定資産運用益計	64,040	0	0	64,040
③受取会費				
賛助会員受取会費	578,000	0	0	578,000
受取会費計	578,000	0	0	578,000
④事業収益				
自主事業収益	1,092,656	0	0	1,092,656
事業収益	850,317	0	0	850,317
事業収益計	1,942,973	0	0	1,942,973
⑤受託事業収益				
豊中市指定管理受託料収益	78,132,055	4,987,152	0	83,119,207
小学校英語外国語体験活動事業受託料収益(豊中市)	4,756,213	0	0	4,756,213
新型コロナウイルス予防接種に関する外国人支援事業受託料収益(豊中市)	5,351,587	0	0	5,351,587
受託事業収益計	88,239,855	4,987,152	0	93,227,007
⑥受取補助金等				
助成金(一財)自治体国際化協会	1,980	0	0	1,980
その他助成金	0	0	0	0
受取補助金計	1,980	0	0	1,980
⑦受取寄付金				
受取寄付金	527,892	0	150,000	677,892
受取寄付金計	527,892	0	150,000	677,892
⑧雑収益				
雑収益計	3,620	0	0	3,620
経常収益計	91,358,360	4,987,152	4,023,756	100,369,268
(2) 経常費用				
①事業費				
給料手当	36,100,489	292,488	0	36,392,977
臨時雇用賃金	2,889,804	117,276	0	3,007,080
福利厚生費	7,238,787	255,809	0	7,494,596
経費交通費	2,845,700	0	0	2,845,700
通信運搬費	994,851	0	0	994,851
図書配布費	48,693	0	0	48,693
消耗品費	2,495,632	23,337	0	2,518,969
修繕費	1,154,123	73,667	0	1,227,790
印刷製本費	209,553	0	0	209,553
材料費	16,290	0	0	16,290
水道光熱費	4,164,705	271,611	0	4,436,316
賃借料	1,161,527	0	0	1,161,527
保険料	355,910	0	0	355,910
償債費	16,435,031	0	0	16,435,031
租借公費	6,042,278	332,922	0	6,375,200
支払負担金	83,375	0	0	83,375
委託費	9,329,377	475,529	0	9,804,906
使用料	485,593	0	0	485,593
支払手数料	408,736	0	0	408,736
食料費	11,779	0	0	11,779
渉外費	5,543	0	0	5,543
研修費	402,470	0	0	402,470
広告宣伝費	673,417	0	0	673,417
雑費	29,525	0	0	29,525
雑損失	21,112	0	0	21,112
事業費計	93,604,300	1,842,639	0	95,446,939

勘定科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
②管理費				
給料手当	0	0	900,912	900,912
福利厚生費	0	0	46,180	46,180
経費交通費	0	0	57,850	57,850
通信運搬費	0	0	13,990	13,990
消耗品費	0	0	170,563	170,563
水道光熱費	0	0	90,538	90,538
賃借料	0	0	24,829	24,829
保険料	0	0	102,260	102,260
雑費	0	0	929,522	929,522
租税公費	0	0	1,100	1,100
使用料	0	0	4,396	4,396
委託費	0	0	341,068	341,068
食料費	0	0	0	0
研修費	0	0	24,900	24,900
渉外費	0	0	5,616	5,616
広告宣伝費	0	0	0	0
支払手数料	0	0	1,603	1,603
管理費用計	0	0	2,715,327	2,715,327
	93,604,300	1,842,639	2,715,327	98,162,266
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,245,940	3,144,513	1,308,429	2,207,002
特定資産評価損益等	△ 196,630	0	0	△ 196,630
当期経常増減額	△ 2,442,570	3,144,513	1,308,429	2,010,372
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	1,546,046	△ 1,546,046	0	0
繰引前当期一般正味財産増減額	△ 896,524	1,598,467	1,308,429	2,010,372
法人税、住民税及び事業税	0	437,400	0	437,400
当期一般正味財産増減額	△ 896,524	1,161,067	1,308,429	1,572,972
一般正味財産期首残高				22,349,212
一般正味財産期末残高				23,922,184
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息(指定)	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
②受取寄付金				
受取寄付金(指定)	0	0	0	0
受取寄付金計	0	0	0	0
③一般正味財産への振替額				
基本財産運用益振替額(指定)	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
一般正味財産への振替額計	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				202,000,000
指定正味財産期末残高				202,000,000
指定正味財産期末残高				225,922,184

財務諸表に対する注記

- 継続事業の前提に関する注記**
継続事業の前提に重要な疑義をかける事象又は状況はない。
- 重要な会計方針**
 - 有価証券の評価基準及び評価方法**
譲渡有目的の債券 其れ財産の投資有価証券は償還原価法(定額法)による。
その他有価証券 特定資産の投資有価証券は期末日の市場価格に基づく時価による。
 - 損益計算の算定基準及び評価方法**
販売用図書 償却法による原価法による。
当期末の実地価額残高に基づき計上している。
 - 引当金の計上基準**
賞与引当金 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - 消費税等の会計処理**
消費税率の会計処理は、税込方式による。
 - リース取引の処理方法**

外国人と共生する地域づくり

大阪・豊中の実践から見てきたもの

「共に生きるための地域づくり」を理念に25年間活動してきたよなか国際交流協会の実践から学ぶ支援のヒント。外国人支援に関心はあるがツールのない行政・福祉の専門職、地域国際交流協会に向けて、多文化共生と福祉をつなぐ視点と可能性について論じる。

【内容構成】
はじめに：本書の使い方(目次と目録)
第1章 実践編——「外国人と共生する地域づくり」の理念と実践
序章 本書の目的と「外国人と共生する地域づくり」の理念
1 実践編——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
2 協会の活動(協会の活動内容と実践)
3 共生の理念
4 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
5 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
第2章 実践編——実践から学ぶ支援のヒント
1 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
2 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
3 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
4 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
5 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
第3章 実践編——実践から学ぶ支援のヒント
1 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
2 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
3 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
4 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
5 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
第4章 実践編——実践から学ぶ支援のヒント
1 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
2 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
3 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
4 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
5 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
第5章 実践編——実践から学ぶ支援のヒント
1 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
2 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
3 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
4 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)
5 共生の理念——実践から学ぶ支援のヒント(よなか国際交流協会)

定価 2,400円(税別)
A5判/並製/304頁

公益財団法人よなか国際交流協会 [編集]
牧里治 [監修]

明石書店 TEL:03-5818-1171 FAX:03-5818-1174

無断離婚 対応マニュアル

外国人支援のための 実務と課題

二宮周平・松本謙之 監修
協議離婚問題研究会 (リコン・アラート)

突然言い出され、知らない間に離婚されていた！
子どもにも会えなくなった……
今後の生活はどうすれば？
被害に苦しむ外国人に寄り添い、サポートする 支援者のための必読書。

好評販売中！

日本児童出版株式会社

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
① 現金預金			
小引現金	86,234	93,689	△ 7,455
貸出用現金	0	2,400	△ 2,400
普通預金	16,852,508	17,612,332	△ 759,824
郵便振替貯金	3,000	0	3,000
財政調整定期預金	2,000,000	2,000,000	0
現金預金合計	18,941,742	19,708,421	△ 766,679
② 短期資産			
販売用図書	291,299	158,374	132,925
短期資産合計	291,299	158,374	132,925
③ その他の流動資産			
未収金	4,792,245	2,073,125	2,719,120
前払金	48,000	60,000	△ 12,000
立替金	0	0	0
その他の流動資産合計	4,840,245	2,133,125	2,707,120
流動資産合計	24,073,286	21,999,920	2,073,366
2. 固定資産			
① 基本財産			
基本財産預金			
基本財産預金	733,316	807,072	△ 73,756
投資有価証券	199,266,684	199,192,928	73,756
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
② 特定資産			
事業継続積立資産			
事業継続積立資産	2,000,000	2,000,000	0
財政調整積立資産			
財政調整積立資産	10,207,937	10,404,567	△ 196,630
多文化子どもエンパワメント事業			
多文化子どもエンパワメント事業	2,000,000	2,000,000	0
特定資産合計	14,207,937	14,404,567	△ 196,630
固定資産合計	214,207,937	214,404,567	△ 196,630
資産合計	238,281,223	236,404,487	1,876,736
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
未払金	6,983,514	6,350,276	613,238
未払消費税等			
未払消費税等	2,289,400	3,171,800	△ 882,400
未払法人税等			
未払法人税等	437,400	196,600	240,800
前受金			
前受金	9,000	37,000	△ 28,000
預り金			
預り金	804,915	560,566	244,349
市町村金(貸受)			
市町村金(貸受)	0	2,400	△ 2,400
修繕預り金			
修繕預り金	72,210	0	72,210
賞与引当金			
賞与引当金	1,782,600	1,736,633	45,967
流動負債合計	12,359,039	12,055,275	303,764
負債合計	12,359,039	12,055,275	303,764
III 純資産の部			
1. 指定正味財産			
受取基本財産預金			
受取基本財産預金	733,316	807,072	△ 73,756
受取投資有価証券			
受取投資有価証券	199,266,684	199,192,928	73,756
受取寄付金			
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	202,000,000	202,000,000	0
① 基本財産への寄附金			
基本財産への寄附金	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
② 一般正味財産への寄附金			
一般正味財産への寄附金	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般指定正味財産合計			
一般指定正味財産合計	23,922,184	22,349,212	1,572,972
① 一般正味財産への寄附金			
一般正味財産への寄附金	(12,207,937)	(12,404,567)	(196,630)
正味財産合計	225,922,184	224,349,212	1,572,972
負債及び純資産合計	238,281,223	236,404,487	1,876,736

2022(令和4)年5月7日

監査報告書

公益財団法人とよなか国際交流協会
理事長 松本 康之 君

公益財団法人とよなか国際交流協会
監事 種田 心子 君

公益財団法人とよなか国際交流協会
監事 栗原 貴子 君

公益財団法人とよなか国際交流協会
監事 吳 幸和 君

私ども監事は、令和3(2021)年4月1日から令和4(2022)年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

- 監査の方法及びその内容
各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の遂行に努めることとし、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からの職務の履行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な扶養費請求を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
なお、全額帳簿又はこれに関する資料の提供を拒否し、当該事業年度に係る事業報告(貸借対照表及び損益計算書)及びその附属明細並びに財産目録について検討いたしました。
- 監査意見
(1) 事業報告等の存在結果
一 事業報告は、法令及び定款にない、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
二 理事の職務の履行に関する不備の有無又は法令若しくは定款に違反する重大な事実が認められません。
(2) 計算書類及び附属明細並びに財産目録の存在結果
計算書類及びその附属明細並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

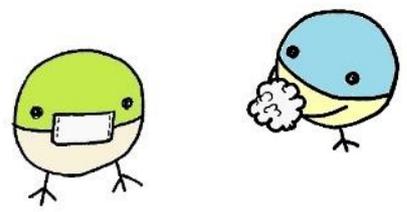
2021 年度募金
497,430 円
その他寄付
180,462 円

他、書き損じはがき、民族衣装、
文具、食料品等の
ご寄付もいただきました。
ご協力ありがとうございました

いただいた募金および物品は、「多文化こどもエンパワメント事業」等支援事業に役立てさせていただきます。
皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。引続きどうぞよろしく願いいたします。

【ご報告】「多文化子どもエンパワメント事業」

多文化子どもエンパワメント事業の一事業である、外国にルーツを持つ子どものための日本語支援「学習支援こんぱす」ではボランティアが小・中学生向けの日本語指導を行っています。2021 年度も新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、とよなか国際交流センター休館時や感染拡大時にはオンラインで授業を行いました。また、対面での活動が可能な期間には毎週火曜日に教育相談を実施し、日本語について気になる子どもの保護者、教員や子ども等から相談を受け入れ、必要に応じて「こんぱす」の通級につなげたり、学校や自宅での支援についてのアドバイスを行ったりしました。89 回開催、子どもの参加のべ 358 人。今後も当事者のニーズに沿った活動を続けていきます。ご支援いただいた皆様に心から感謝いたします。



協力者ご芳名

(2021年度分の賛助会費・2020年度内に募金・寄付金およびリサイクル寄付にご協力いただいた方々、敬称略、五十音順、過去に匿名希望だった方は今年も匿名にしています)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 青柳 隆 | 田中 雅子 |
| 青柳 尚子 | 谷 雅博 |
| 赤尾 勝己 | 谷口 正子 |
| 安里 陽子 | 照井 篤子 |
| 有賀 千洋 | 徳弘 保 |
| 有田 進 | 徳弘 博子 |
| 池田 真知子 | 富岡 美知子 |
| 石墨 方子 | 友國 武 |
| 石原 毅 | 長岡 由剛 |
| 井関 雅子 | 長野 良子 |
| 市来 奈津未 | 永原 武敏 |
| 一階 礼子 | 南雲 勇多 |
| 伊藤 真生 | 成田 晃 |
| 井上 良 | 西原 真理子 |
| 今井 貴代子 | 野田 幸宏 |
| 岩崎 宏 | 野出 敬子 |
| 上田 幸子 | 野村 亜紀 |
| 上間 紫織 | 野村 智子 |
| 内海 弘子 | 狭間 徹 |
| 榎井 縁 | 長谷川 洋司 |
| 榎原 智子 | 服部 圭子 |
| 老田 真理子 | 原田 武男 |
| 種田 ゆみこ | 久木 治男 |
| 大池 裕子 | 樋渡 達成 |
| 大岡 一馬 | 福田 克人 |
| 太田 法子 | 藤倉 康子 |
| 奥井 泰伸 | 藤田 和世 |
| 小田垣 進 | 細見 啓子 |
| 小野 仁彦 | 増田 博子 |
| カキザキ マユコ | 増田 麻美子 |
| 梶浦 愛子 | 松尾 敦子 |
| 片岡 由賀子 | 松崎 薫 |
| カナムラ ヒトシ | 松本 康之 |
| 金築 清 | 三浦 弘志 |
| 神宮 宇一 | 南 一成 |
| 木内 淑子 | 宮地 和夫 |
| 岸田 すみ子 | 三好 千聖 |
| 北側 佳恵 | 三輪 敦子 |
| 北村 澄子 | 本原 光弘 |
| 木村 隆夫 | 森 博次 |
| 木村 涼子 | 森川 陽子 |
| 郡山 智代 | 安岡 健一 |
| 小島 和恵 | 数田 直子 |
| 後藤 澄江 | 山田 卓史、ゆかり |
| 栄 裕矢 | 山野上 隆史 |
| 坂上 直子 | 山本 愛 |
| 坂原 健史 | 山本 恵信 |
| 佐藤 英樹 | Yu Jing |
| 澤田 啓子 | Yokoyama Chenie |
| Sicong Chen | 吉内 恵美 |
| 神宮 江里佳 | 吉岡 誠一 |
| 隅内 茂 | 吉岡 良子 |
| 角田 卓也 | 吉田 潤子 |
| 仙田 武司 | 吉田 照文 |
| 宋 悟 | 吉宮 文代 |
| 大源 文造 | 米澤 千枝 |
| 高岡 奏子 | 和田 由起子 |
| 高木 智志 | 渡辺 瑞佳 |
| 高木 絵里子 | |
| 田上 浩 | |
| 滝村 恵子 | |
| 武田 丈 | |
| 田中 清子 | |
| 田中 潤治 | |

他匿名希望 50 名

<団体>

- 株式会社井上組
- キタノ商事株式会社
- 公益財団法人 AFS 日本協会大阪北支部
- 社会福祉法人大阪府社会福祉事業団
- NPO 法人国際交流の会とよなか
- NPO 法人国際交流団体未来
- 在日本大韓国民国民団大阪府豊能支部
- 豊中平和連帯会議
- 豊中南ロータリークラブ
- 日本聖公会石橋聖トマス教会
- 日本聖公会庄内キリスト教会
- 日本聖公会東豊中聖ミカエル教会
- ホストファミリーグループ アミーゴ
- やりなおしの英会話
- 豊中市教職員組合有志の皆様



当協会ウェブサイトから
クレジットカードで会費や寄付金を
お支払いできるようになりました！

お手続きは右のマークから→→→



賛助会員として協会を応援して下さい！

協会の理念に賛同して、会員として協会の外国人のための支援事業を支えて下さる方を募集しています。

会員になると、「こくりゅうだより」などの情報を毎月郵送でお届けします。

お支払い(お申込み)はクレジットカード(当会ウェブサイトから)、郵便振替、当会受付で現金支払いが可能です。

当会への会費(寄付金)は税額控除の対象となります！

郵便振替の場合、以下の郵便振替口座あてに年会費をご送金ください(通信欄に「賛助会員年会費」と明記して下さい)。

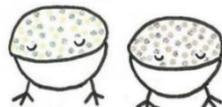
●加入者名:
公益財団法人とよなか国際交流協会

●口座番号:
00990-3-305828

●年会費: 個人 3,000 円、団体 10,000 円、法人 10,000 円
(会員期間: 4 月～翌 3 月末)

※ご寄付も随時受け付けています！(税額控除の対象となります)

※他、未使用テレカや書き損じはがき、中古ゲームソフトなども集めています。



(公財) とよなか国際交流協会 役員

(2022年6月20日現在、順不同、敬称略)

【理事】

理事長：松本 康之（弁護士：長野総合法律事務所）
 常務理事：山野上 隆史（とよなか国際交流協会事務局長）
 榎井 縁（大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター特任教授）
 大島 昭子（ボランティアグループ音・音オカリーナ代表）
 浦 耕太郎（豊中市立小学校教諭）
 服部 圭子（近畿大学生物理工学部教授）
 徳弘 博子（元学校法人大阪音楽大学研究事務部門部長）
 田中 逸郎（NPO 法人 NPO 政策研究所 理事）
 ヨコタ ジェリー（大阪大学名誉教授）

【監事】

種田 ゆみこ（種田ゆみこ公認会計士税理士事務所）
 呉 幸 哲（呉税理士事務所）
 栗原 貴子（栗原貴子公認会計士・税理士事務所）

【評議員】

井関 雅子（豊中女性防火クラブ連絡協議会会長／
 大阪国際文化協会会員）
 野崎 志帆（甲南女子大学文学部多文化コミュニケーション学科教授）
 窪 誠（大阪産業大学経済学部教授）
 園崎 寿子（エクパット・ジャパン関西共同代表）
 宋 悟（特定非営利活動法人クロスベイス代表）
 大家 幸子（豊中市立中学校教諭）
 村上 深雪（豊中市民）

【顧問】

金 菊子（大阪女学院大学特任講師）
 南 一成（元公益財団法人大阪府国際交流財団常務理事兼事務局長）
 柴田 亨（よみかき茶屋コーディネーター）

STAFF

2022年4月1日現在

2022年度もよろしくお願ひします！



山野上 隆史(事務局長)
 山本 愛(事務局次長)
 山根 絵美(事業主任)
 山本 房代(事業主任)
 安藤 綾子(総務主任)
 大庭 みゆき(事業担当)
 三木 幸美(総務担当)
 石田 みどり(事業担当)
 林 陽(事業担当)
 三谷 あゆ子(総務担当)
 御園 美由紀(総務担当)

<多言語スタッフ>

賈 晨(中国語)
 朴 貞 淑(韓国・朝鮮語)
 平松 マリア(フィリピン語・英語)
 バティ シュレスタ(ネパール語)
 シチ ゴック トゥエット(ベトナム語)
 ジャスミン リベラ マヨ(フィリピン語・英語)
 アナンダ プトリ(インドネシア語・英語)
 プリーチャーパンヤー シャヤーポーン(タイ語)

公益財団法人とよなか国際交流協会 2021年度年次報告書(概要版)「こくりゅう@home 2021」

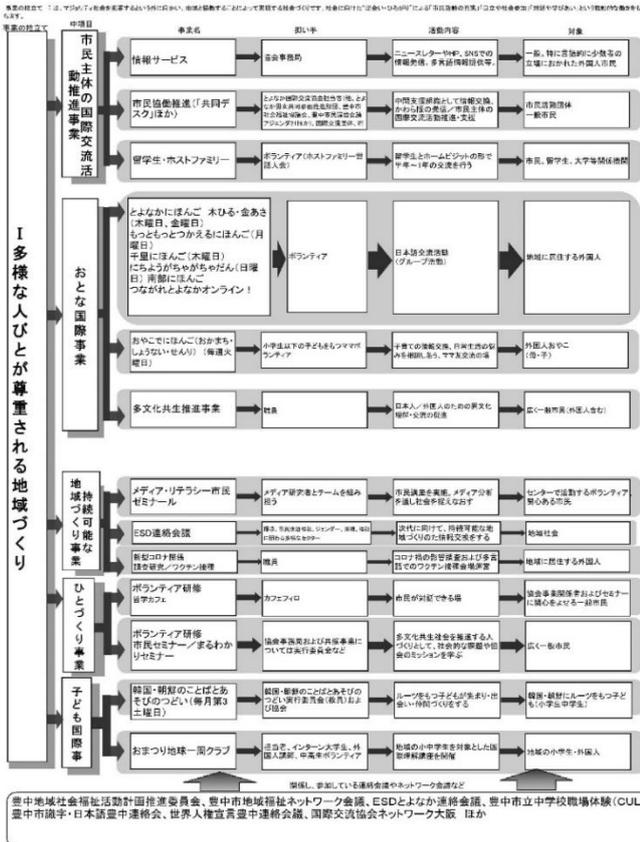
発行者：公益財団法人とよなか国際交流協会 発行責任者：松本康之 発行日：2022年6月20日

住所：大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター

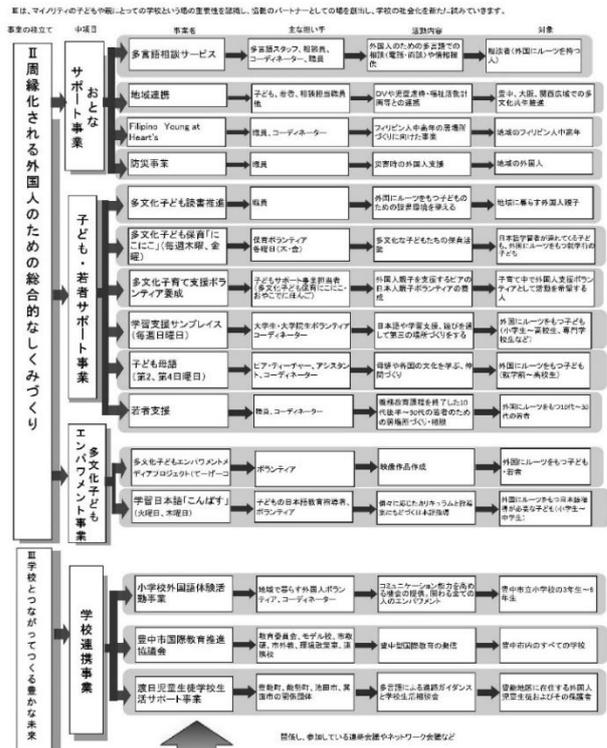
TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375 E-mail: atoms@a.zaq.jp URL: http://a-atoms.info

2021年4月現在

公益財団法人よなな国際交流協会：事業一覧



※は、メディアの掲載を希望する方向に問い合わせを希望する。掲載される外国人に対し、「つながり」により「安心・エンパワメント」によるグローバル市民の育成が期待される。掲載される外国人に対し、「つながり」により「安心・エンパワメント」によるグローバル市民の育成が期待される。



※中地域社会福祉活動計画推進委員会、豊中市地域福祉ネットワーク会議、ESDとよなな国際交流協会、豊中市立中学校職場体験(CUL)、豊中市識字・日本語学習連絡会、世界人権宣言推進連絡会議、国際交流協会ネットワーク大阪 ほか

※中市中DV防止ネットワーク会議、豊中市子どもを守る地域ネットワーク会議、豊中市子ども読書推進連絡会議、豊中市教育委員会、豊中市児童生徒相談室、豊中市在日外国人教育推進担当者会議(小学生のためのハグハグキョ、ハグハグキョキャンプを含む)、全国在日外国人生徒交流会、豊中市国際教育推進協議会、大阪府外国人相談窓口担当者ネットワーク会議、子ども読書推進本部会議、支援専門部会業務担当者会議、子ども若者支援協議会、子ども読書推進本部連絡会議 など

田中バレエ・アート

1993年から田中バレエ・アートを設立し、もうすぐ30年を迎える歴史あるバレエ教室です。

3歳から大人の方・初心者からプロの方まで、一緒に楽しくバレエを始めましょう！

もちろん、 blanksがある方、ボーイズも大歓迎！

学生スカラシップ制度もありますので、プロのダンサーとして頑張りたい方も是非お待ちしております。

LESSON SCHEDULE

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
11:00~12:30 ジュニア	11:00~12:45 オープン	11:00~12:30 中国舞	11:00~12:30 大人	11:00~12:45 オープン		11:00~12:00 ベビー
	16:00~17:15 ベビー		16:00~17:00 ベビー			11:00~12:30 中国舞
	17:15~18:45 児童B		16:30~18:00 児童B	17:00~19:00 Va		12:30~14:00 児童B
		18:00~19:30 ポワント	18:00~19:30 児童A	19:00~20:30 ボーイズ		14:00~15:30 児童A
	18:45~20:15 特別		19:30~21:00 ジュニア		19:00~20:30 ジュニア	16:30~18:00 ジュニア

ベビークラス……3才から
児童Bクラス……小学校低学年
児童Aクラス……小学校高学年
ジュニアクラス……中学生以上(経験者)
オープンクラス……高校生以上(大人・専門家)
大人クラス……大人(初心者~経験者)

LESSON FEE *全て税込み・維持費込

入会金	¥10,000	★オープンクラスのみ受講される方は入会金不要
ベビークラス	週1 ¥6,000 / 週2 ¥9,000 / 週3 ¥11,000	
児童・ジュニア・ボーイズ	週1 ¥8,000 / 週2 ¥14,000 / 週3 ¥19,000 週4 ¥22,000 / 週5以上 ¥24,000	
劉先生特別クラス	通常クラス料金+ ¥1,000/1回	
オープンクラス	1回 ¥2,500	
ボーイズ(外部)	1回 ¥2,500	

詳細は、ホームページよりご覧下さい。御連絡お待ちしております。

☎06-6865-8123

〒561-0803 豊中市城山町1-2-19



<http://tanakaballetart.main.jp/>

広告協賛

吉岡誠一行政書士事務所

帰化、短期滞在、在留資格、永住
農業用地の宅地への変更

NPO 法人設立

遺言書作成

遺産分割協議書作成

古物商申請

中央官庁陳情文書作成

〒560-0011

大阪府豊中市上野西2丁目19番7号

H・P 090-8481-8485

E-mail spk92ed9@energy.ocn.ne.jp

TEL/FAX 06-6853-7433

とよなか国際交流協会年次報告書概要版 「こくりゅう@home」に広告を掲載しませんか

この年次報告書に、普段地域で活躍されておられる店舗・事業所・企業の皆様の広告を掲載させていただくことで、ご活躍を知っていただく機会とするとともに、地域の活性化にも役立てたいと願っています。広告の掲載についてご関心のある方は、詳細について事務局までお問合せください。

<サイズと料金（データ持ち込みの場合）>

カテゴリ	金額（年間）※税込
全面広告（カラー）	30,000円
半面広告（カラー）	15,000円
四分の一（カラー）	8,000円
八分の一（カラー）	4,000円

※当会賛助会員は上記金額より20%割引

とよなか国際交流協会 TEL06-6843-4343

自家焙煎珈琲店

Basic 珈琲

大阪府豊中市
西緑丘3-13-1
シンミ西緑丘ビル1階
☎06-4867-3437

営業時間
9:00~18:00
月曜のみ9:00~11:30
定休日
木曜日



保険のことならおまかせください！

生命保険 損害保険 傷害保険

自動車 自転車 火災・地震

子ども 旅行 趣味 老後 等

株式会社 ライフサポート

大阪府茨木市美沢町20番地18号1F

電話番号 072-646-5434

E-mail: lifesupport-sj@snow.ocn.ne.jp

http://www.sjnk-ag.com/a/life_support/

多文化共生・持続可能な社会を目指して
Aiming for a multicultural and sustainable society



NPO法人
日本ハラル協会
NPO Japan Halal Association

活動内容 Activity content

- ・ハラル認証 Halal certification
- ・ハラル講習 / セミナー各種 Halal related Training & Seminars
- ・日本在住ムスリムサポート Support for foreign Muslim in Japan
- ・学生支援 Support for Student

〒558-0011 大阪府大阪市住吉区苅田3-17-4 エクセルアビコ2F
2F, Excel-Abiko, 3-17-4 Karita, Sumiyoshi, Osaka 558-0011, Japan



お気軽にご相談ください

☎ 06-4703-5966 FAX 06-4703-5977
Email: info@jhalal.com URL: www.jhalal.com

キムチ屋&韓国料理



鳳仙花

韓国光州出身のオモニの味をあじわえるお店です。
ご予約お待ちしております。(2階席約20名可)

☎ 06-6332-3531

キムチ販売 8:00~19:00

(日曜日・祝日定休)

店内飲食 19:00~23:00

(木曜日・日曜日・祝日定休日)

豊中市庄内東町1-9-18 (庄内駅から徒歩1分)



豊中で世界グルメツアー〜+

在住外国人が大活躍!

おかげさまで**カフェ・サパナ**は10周年を迎えました。
これからも食卓での世界旅行をお楽しみください!



Welcome!

日が変わり・国が変わり **サパナランチ**

平日 11:30~14:00 頃(売切れまで)

お料理自慢の外国人が、母国の家庭料理を
紹介しています。



世界の味をそのままパック!

サパナ弁当

その日のランチをお持ち帰りいただけます。
(事前にご注文ください。)



アットホームな
レンタルスペース

お店を丸ごとお貸しします。
飲食店、パーティー、ミーティ
ングなどにお使いください。
まずはご相談ください。
(夜間および土日祝日
基本料金 1時間 1000円)



Facebook 発信中!

<ご注文・お問合せ>

カフェ・サパナ

TEL 06-6840-1014

メール tifa99@nifty.ne.jp

(TIFA 事務局)



豊中市本町 3-3-2-101
阪急豊中駅北口から徒歩 3分

カフェ・サパナは TIFA (国際交流の会とよなか) の支援を受けて、地域の外国人と日本人が協力して運営しています。